

「からだづくりを通じてこころを育てる」運動が苦手な子への運動サポート事業

【支援金確定額：161,860円 支援率：73.62%】

記入日：平成26年3月27日

■どのような活動をしている団体ですか？

運動が苦手なお子さんに運動を好きになってもらい、何事にも自信をもって立ち向かう生きる力を育てることを目的とした、少人数で丁寧な運動指導をモットーとする体操クラブの運営を行っています。また、年間を通して、自然体験事業も行っています。人々や社会との触れ合いの中で、主体性をもち、生き生きとした社会生活を送るための「自信・コミュニケーション・適応力」を育て、将来未来を背負うこどもたちの成長を支援しています。



体育課題の跳び箱にチャレンジします

■事業立上型支援金をどのように活用されましたか？

①運動器具の購入

(跳び箱、踏切板、ソフトフォームボール、バランスクッション、ミニトレーニングハードル、20mシャトルランテスト用CD)

②ボランティア謝礼金

③事業パンフ印刷費用および郵送料



①購入した運動器具

■事業立上型支援金を活用して事業を実施することで、どのような成果がありましたか？

運動が苦手なこどもたちは、いつも「きっとできない、どうせできない」という気持ちでいます。学校生活においてできないと思っていたことが、できたという自信をひとつでも多く経験してもらいたいと思っています。今回、支援金で運動器具を購入させていただき、運動の幅が広がり学校体育課題につながるが増えました。また、自然体験事業においては、ボランティアの方々のご協力が毎回欠かせません。こどもたちの安全の見守りと楽しい活動の支援をしていただいています。こどもたちも地域の人々との関わりを楽しむ貴重な場となっています。このように色々な人たちとの活動を共に経験することは、これからの社会生活における貴重な体験となっています。

■今後の活動の抱負について

この活動が発足して2年、現在43名のお子さんが利用されています。現在は小学生のお子さんの利用が中心で、まず運動を好きになってもらうことを大切にしています。今後は活動の中・高校生にも広げ、就労に向けた基礎体力づくりを行って行きたいと思っています。また、活動の拠点を増やし、放課後等児童デイ「とれいる」を立ち上げ、小学校～高校生のお子さんの活動を行っていく予定です。将来的には地域社会の皆さんとの交流する場も設け、こどもたちへの理解を深めていただく機会をつくっていきたいと思います。色々な人々が楽しく暮らせる地域社会をつくるための一助になることを目指し活動していきます。

■問い合わせ先：理事長 山下 貴子（やました たかこ）

TEL：047-494-1358

E-mail:kuon@ae.auone-net.jp